

令和3年度 定時社員総会 招集のご案内

目 次

- 1 定時社員総会の招集ご通知…………… P 1
- 2 添付書類
 - (1) 事業報告…………… P 3
 - (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録…………… P 23
 - (3) 監査報告書…………… P 33
- 3 社員総会参考書類…………… P 35
 - 第1号議案 令和2年度 計算書類等の承認の件
 - 第2号議案 理事8名の選任の件
 - 第3号議案 監事2名の選任の件
- 4 その他資料…………… P 37
 - 東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）理事長挨拶文
 - 会員表彰者一覧
 - 事前質問用紙
 - 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿



令和3年6月8日

会 員 各 位

東京都武蔵野市中町3丁目5番16号
公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター
会 長 加 藤 之 義

令和3年度 定時社員総会の招集ご通知

拝啓 会員の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの定時社員総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、総会は公益認定法第21条第2項への対応など法人運営上必要とされているため、例年と同時期に開催いたしますが、当日は人が密集する状態になる恐れや、新型コロナウイルス感染症への危惧もございます。各人のご健康のために、委任状または議決権行使書の活用をできる限りご考慮ください。委任状または議決権行使書をご提出頂いた場合には、当日のご来場は不要です。

代理人によるご出席をご希望の場合には、同封の委任状にご署名、押印の上、令和3年6月16日(水)までに到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。

また、当日、ご本人または代理人によるご出席が願えない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ですが本通知及び添付の社員総会参考書類をご検討の上、同封の議決権行使書に議案への賛否をご表示いただき、令和3年6月23日（水）午後5時までに到着するようにご返送くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時及び場所

令和3年6月24日（木） 13時30分～（受付開始 13時～）
東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-22
武蔵野公会堂 ホール （最終頁の案内図参照）

2 目的事項

（1）報告事項

- ① 監査報告
- ② 令和2年度 事業報告の件

（2）決議事項

- ① 第1号議案
令和2年度 計算書類等の承認の件
- ② 第2号議案
理事8名の選任の件

③ 第3号議案
監事2名の選任の件

※議案の概要は、社員総会参考書類（P35・P36）に記載してあります。

※事業報告書・計算書類・参考書類等の内容について修正が生じた場合には、当センターのホームページ (<http://www.musashino-sc.or.jp>) に掲載するとともに、事務局前に掲出してお知らせいたします。

※議案に関する質問は、本書に『事前質問用紙』（P41）を添付しています。

なるべく 6月16日（水）まで に事務局へ到着するよう持参、郵送、またはファクシミリでご提出願います。

※ご案内とお願い

○当日の予定は下記のとおりとなっております。

13：00 -受付開始

13：30 -開 会

-会長挨拶

-来賓祝辞

-会員表彰 : 在籍20年・10年会員の方、団体表彰

(当日は各代表者のみの表彰となります。)

-定時社員総会

-議 案

-新役員紹介

-退任役員挨拶

-役員表彰

15：45-閉 会

○お願い

今年の定時社員総会は、新型コロナウイルスの影響がある中での開催となります。

三密状態を防ぐためにも委任状または議決権行使書の活用をお願いいたします。

(1) 事 業 報 告

令和2年度 事業報告

1 総括

令和元年12月、中国湖北省武漢市で原因不明のウイルス性肺炎の患者が相次ぎ発生し、令和2年1月、世界保健機関（WHO）は、このウイルス性肺炎について新型のコロナウイルス（以下「コロナ」という。）が検出されたと認定しました。同年1月15日には武漢市からの帰国者1名が、国内で初めてコロナ感染者と確認され、その後、国内での感染確認から1年半あまりで、国内の累計感染者は、約75万人（令和3年6月1日時点）を超えています。国内でもコロナワクチンの接種が開始されましたが、一日も早くコロナが終息することを願います。

コロナの感染拡大は、当シルバー人材センター事業の運営に大きく影響いたしました。

緊急事態宣言の発出に伴う小中学校の一斉休校により、市から受注されている学校施設管理の仕事が令和2年4月から6月までの3ヶ月間休止となるなど、収入面において大きく影響しました。各学校の消毒作業という仕事の受注などで回復に努めましたが、家事援助をはじめ、一般企業やご家庭からの受注が大幅に減少しました。

会員皆さまのご協力により契約額目標4億500万円に対し、3億6,600万円、達成率にして90.4%、10%減に抑えることができました。

会員数につきましては、目標1,240名に対し、1,111名、達成率89.6%で10%減の結果となりました。毎月一回の入会説明会への参加者もコロナ禍の影響で減少傾向にある中、「会員増強」のための全戸チラシの配布と東部地区の出張説明会の実施など懸命な取り組みを行ってきましたが、国が進める65歳までの雇用確保措置（定年延長など）や70歳までの就業機会の確保などの影響もあり、会員数は伸び悩みました。就業率は、目標83.0%に対して、80.8%と達成率97.3%の結果となりました。

感染リスクと向き合いながら、市内各地域で就業されている会員の皆様に対し心より感謝申し上げます。100年に一度と言われる国難の今、コロナとの闘いはまだ続くかと思いますが、今後も会員の皆様と力を合わせ、このコロナ禍を乗り越え、一日も早く皆様が安全・安心に地域で活躍できる日常が戻ることを切に願っています。

2 数値目標の達成状況

	目 標	実 績	達成率	前年実績	前年比増減
会員数（人）	1,240	1,111	89.6	1,154	△43
契約額（千円）	405,000	366,078	90.4	393,500	△27,422
就業率（%）	83	80.8	97.3	84.7	△3.9
派遣事業（千円）	20,000	19,254	96.3	17,676	1,578

3 運営の基本的考え方

- (1) 中期目標で定めた3大目標は、コロナの影響もあり減速を余儀なくされました。会員の交流機会の減少をはじめ、就業拡大や会員増強の取り組みにもコロナの感染拡大が大きく影響し、センター運営も我慢の一年になりました。
- (2) 中期目標との乖離につきましては、中間点として見直しを行いました。今後取り組みを進める「改革」を通して、令和3年度以降の計画達成と4年度での回復を目指します。
- (3) 「地区の活性化」をテーマに検討を行う予定でしたが、コロナの影響で会議等を開催することが難しく、進展には至りませんでした。
- (4) 会員の総力結集で事業の展開、各種調査、センター主催事業への参加協力を計画しましたが、コロナ禍での進捗を図ることができませんでした。令和2年度から取り組みを進めている「令和3年度以降の改革」を事業運営に反映させていきます。
- (5) 「魅力あるセンターづくり」においては、会員状況調査の分析により、年代別・男女別に就業している職群実情を取り纏め、未就業会員へ案内を行いました。

4 令和2年度センター事業実績

1 就業開拓提供事業（就業機会の確保及び提供）

(1) 請負・派遣事業

- 就業開拓のための理事・事務局職員による契約先への訪問では、8月に武蔵野市役所及び民間企業の発注者11ヶ所に対し、担当理事及び事務局長が訪問し就業開拓に努めました。年末年始も訪問を行う予定でしたが、コロナ禍にて訪問を中止しました。
- 就業開拓訪問時の提供資料の充実を図るため、既存資料の更新及びシルバー人材センターに発注する際のメリットをまとめたコメント集を作成しました。
- 全ての会員へ就業情報を提供するため、「就業ニュース」を24回発行しました。
- センターのPRチラシを作成するにあたり、印刷会社の選定見直しや新たな視点に基づいたデザインの刷新を行い、令和2年11月、85,000枚を市内全戸に配布しました。
- 武蔵野市との連携による就業開拓では、学校消毒事業の受託を通して、多くの会員の就業を実現することができました。
- コロナ禍においても、派遣事業の拡大を図り、発注者への情報提供や会員の確保に努めました。
- 新規契約先への適正就業ガイドラインの案内・PRとして、契約時にガイドラインを活用して説明を行うなど、会員の適正就業につなげる取り組みを行いました。

(2) 独自事業

- 小学3年生から中学生までを対象にした補習教室
- 市民を対象にしたパソコン教室
- 市民の不要となった家具・自転車等のリサイクル事業

- 不用になった衣類等を裁縫し直し、オリジナル作品を製作する小物製作販売

2 普及啓発事業

地域社会に向けてシルバー人材センター事業を広く周知・啓発するとともに、就労を通して社会参加を希望する高齢者の入会促進に努めました。

(1) センターのPRと普及啓発

- 市内や都内で行う各種イベントへの参加によるセンターPR活動を行う予定でしたが、コロナの影響で、多くのイベントが中止・延期となったことから、十分な活動が実施できませんでした。
- 市民に公開している健康フェスタ等のイベントの実施と参加促進では、コロナの影響で、「健康フェスタ」をはじめとする主催イベント自体が中止となり、実質的な活動を行うことができませんでした。
- 広報誌「絆」の継続と内容の充実を図るため、令和2年初頭に全会員を対象に実施した「読者アンケート」を基に、誌面の大幅刷新を行いました。新シリーズとして開始した「現場にGO!」「リレーエッセイ」「チャレンジ教室」「SC NOW」等の企画は、会員の皆様からも好評をいただきました。
- 「手芸小物班」事業はコロナの影響もあり、市役所での販売・PR活動を一部自粛した形で行いました。
- 魅力あるセンターづくりの一環として、会員同士の交流事業では、毎月第一水曜日に交流事業の検討会を開催し、井の頭公園を散歩するイベントや、おしゃべり会などの計画を行いましたが、コロナの影響により全ての計画が中止や延期となりました。
- ㈱関東バスにご協力をいただき、令和2年4月から1年間、市内を運行するバス車内にシルバー人材センター会員募集の広告を掲載しました。
- センターのホームページについて、より見やすく分かりやすい内容にするため、改修の検討を重ねていましたが、コロナ禍の影響と専門スタッフの要員不足もあり、改修は令和3年度に実施することとしました。

(2) 社会奉仕活動

- 市内一斉清掃などの社会奉仕活動として、ゴミゼロデー（6月）及び市内一斉清掃（11月）を行う予定でしたが、コロナの影響で実施が見送られました。
- 市立小学校への雑巾寄贈では、教育委員会を通して市立小学校へ2,070枚の雑巾を寄贈することができました。雑巾寄贈は、公益社団法人となった平成23年度から続いており、今回で10年目となりました。
- 児童見守りボランティアでは、市立第五小学校に通う児童の通学時の見守りを行いました。
- コーラスグループの福寿草は、コロナ禍のため定期練習を控えていましたが、福祉施設訪問演奏に向けて11月に練習を再開しました。しかし、再び緊急事態宣言が発令

されたため活動を休止しました。

- 東京マラソンのボランティアは、コロナの影響で実施時期が、令和3年10月に延期となりました。
- 市報の配布やふれあい訪問収集などの就業機会を通して、高齢者の見守り、安否確認を行いました。
- 市の災害時避難行動支援体制における「安否確認コーディネータ」としての地域貢献活動は、コロナの影響で実施することができませんでした。
- 東京オリンピック・パラリンピックのボランティア参加は、コロナ禍の中、会員の健康管理と安全確保の観点から参加を見合わせました。

3 研修・講習事業

就業に必要な技術の習得やセンターの事業理念の理解を促進することを目的に職群リーダー研修を実施する予定でしたが、コロナ禍の中、実現には至りませんでした。

- 武蔵野市交通企画課の協力を得て、令和3年3月16日、「自転車安全利用講習会」をセンター主催研修として行い、30名の会員が参加しました。
- 東京しごと財団をはじめ、各団体等が主催する研修会の多くは、コロナの影響により中止となりました。
- 新入会員の方へのフォローアップ研修会は、コロナの影響により、令和2年4月から6月まで中止となりましたが、7月以降、感染予防の対策を行いながら計9回実施しました。
- 令和2年12月に未就業者の方へのフォローアップ研修として、未就業会員懇談会を実施し延21名の会員が参加しました。

4 調査研究事業

就業のミスマッチを防ぎ、就業率の向上、就業拡大を図るため、会員の意識や生活状況等の調査・分析を行いました。

- 令和元年度に実施した全会員向けアンケートを活用し、男女別就業実績と就業職群実績を年代ごとに分析しました。また、会報誌「絆」の誌面で新企画「現場にGO！」の予告編として、アンケート結果の概要を掲載しました。
- 他自治体のセンターの動向調査と当センターへの応用検討は、コロナの影響で実施することができなかったため、引き続き実施に向けた検討を行います。
- 事業部会では、毎月職群別の事業実績の分析や問題点の整理を行い、事務費率を上げる必要がある事業などの検討を行いました。
- 独自事業の状況把握と新たな事業展開に向けた検討は、コロナの影響で十分な時間が取れなかったため、引き続き検討を行うこととしました。

5 相談事業

- 入会説明会は、コロナの影響により4月と5月の開催を見送り、6月以降は、感染対策を図りながら10回開催しました。市内各地域での出張説明会は、令和2年11月13日に市内東部地区の市民を対象に武蔵野公会堂で実施し、15名（入会12名）の方が参加されました。
- 市民及び会員からの就業相談に随時対応しました。
- 入会説明会で使用する資料の見直しを行い、わかりやすい資料作りに努めました。
- 毎月、新入会員を対象としたフォローアップ相談会を実施し就業に結び付けました。
- インターネットによる入会相談と仮受付の検討を予定していましたが、コロナの影響により、次年度以降改めて検討することとなりました。

6 安全就業推進事業

会員が安心・安全に就業活動を行えるよう、安全意識の徹底と事故防止に努めましたが、残念ながら傷害事故7件(前年度11件)、賠償事故8件(前年度4件)が発生しました。引き続き、再発防止に向けた取り組みを推進します。

- 令和2年8月25日と27日、植木班の安全管理委員による安全パトロールを実施しました。
- 「安全ニュース」を年6回発行しました。
- 「危険予知」と「自由テーマ」による「安全標語」の募集を行ったところ、39点の応募があり、事務所などへ作品を掲示しました。
- 令和2年10月1日と令和3年3月1日、会員向けに自転車の無料点検を実施しました。また、令和3年3月16日には、研修委員会による会員向けの自転車安全利用講習会を開催し、30名の方が参加されました。
- 令和2年11月25日、東京しごと財団の安全就業担当者と共に落ち葉掃きと植木班の就業現場の安全パトロールを実施しました。
- 仕事別安全就業マニュアルの作成を予定していましたが、コロナの影響により、次年度以降に改めて検討を行うこととなりました。

7 管理・運営事項

(1) 理事会・各部委員会活動

センターの適正かつ円滑な運営を図るため、理事会及び専門部会並びに各委員会等を開催し、次の取り組みを行いました。

- コロナの影響により、4月の理事会を中止としましたが、5月以降は毎月実施し、計11回開催しました。
- 運営会議は臨時運営会議を含め、16回開催しました。

- 諸課題を具体的に検討するための専門部会及び各委員会を開催しました。
- 現行部会や委員会の効果的、効率的な組織改革に向け、当センターと同規模と思われるセンターの調査を行いました。
- 中期目標で掲げた会員数や事業実績などについて、コロナの影響により目標値と実績値に乖離が生じたため、今後取り組みを進める「改革」を通して目標達成を目指します。

(2) 地域班・職群班組織活動

センターの理念である「共働共助・自主自立」の実現を図るため、就業開拓、普及啓発、安全管理、社会奉仕活動などの取り組みを行いました。

- 地域班会議の開催と地域活動は、コロナの影響で不十分となりました。
- 地区班長・副班長と地区理事の間で随時打合せを行い、センター事業や地区会員の状況などについて情報交換を行いました。
- パソコン教室、家事援助、補習教室、リサイクル班が担当理事と協力しながら、仕事別グループ会議の開催と職群活動を実施しました。
- 地区班長・副班長の役割の再構築を図るための検討を行いました。

(3) 事務局体制

事務局は、理事会及び会員を支えるとともに、センターの事業及び経営を安定的かつ持続的に行うため、体制強化に向けた取り組みを進めました。また、働き方改革関連法の施行に伴い超過勤務の縮減等に努めました。

- コンプライアンスの徹底と総務部門の強化
- ジョブローテーションの実施
- 働き方改革関連法の施行への対応

(4) 経営の安定化

センターの安定的な運営や理事会、会員活動を活性化していくため、財政的な基盤整備に向けた取り組みを行いました。

- 事務費率の引き上げに向けた検討
- 既存の補助金の増額や新たな補助金の活用に向けた検討

8 中期目標及び各部・会委員会での取り組み

3大目標達成のため、各組織において、中期目標に示された施策を優先課題として、取り組みを進めました。

(1) 理事会

- 各委員会の報告確認及び進捗管理
- 運営会議検討事項の審議
- 最高意思決定機関としての審議（定款第7章及び理事会運営規則の遵守）

(2) 運営会議

- 部会・委員会の進捗確認と審議
- 理事会への議題整理
- センター運営に係る問題把握と対応策の検討
- 部会・委員会等組織の見直しの検討
- 魅力あるセンターづくりの検討

(3) 総務部会

- 各種会合への参加
- 会員状況調査の計画と活用
- 社会奉仕・ボランティアの推進
- 理事・班長・副班長のあり方研究
- 班長・副班長及び会員の基本的役割（「心得 10 ヶ条」）の検討
- 運営会議での特命事項の検討

(4) 事業部会

- 事業実績分析と問題点の整理
- 職群別事業計画と重点目標の検討（職群別担当理事制のあり方検討）
- 職群別会員登録制の検討
- 運営会議での特命事項の検討
- 就業のための研修受講必須化の検討

(5) 就業開拓委員会

- 新規の仕事依頼に対する契約先訪問
- 就業拡大に向けた全会員への啓発活動
- 開拓訪問時の資料整備
- 未就業者懇談会の実施（研修委員会との連携）

(6) 研修委員会

- 理事・班長・副班長及び職群リーダーへの研修実施
- 新入会員のフォローアップ研修（新入会即就業のルール化）
- 未就業者のフォローアップ研修（就業開拓委員会との連携）

(7) 安全管理委員会

- 仕事別安全就業ガイドラインの作成と「安全心得 10 ヶ条」の徹底
- 事故の再発防止に向けた対応策の検討
- 涼感タオル（熱中症対策）の配布
- 安全標語の募集、選定、表彰
- 読みやすい「安全ニュース」の作成

(8) 広報編集委員会

- 広報誌「絆」の内容充実
- 入会に向けたセンターの魅力発信（会員の活動 PR 等）
- インターネットでの入会相談と仮受付の検討
- 広報活動の充実と効果測定
- （9）適正就業委員会
- 適正就業ガイドラインを活用した取引先及び会員への啓発
- 公平な就業の促進
- 長時間就業の監視と対応策の検討

別紙（主要会議の実施状況）

(1) 定時社員総会

種別	年 月 日・会 場	議 題
定時社員総会	令和2年6月23日（火） 公益社団法人 武蔵野市シルバー人材 センター2階ホール （武蔵野市中町3-5-16）	●報告事項 令和元年度 監査報告 令和元年度 事業報告 ●議決事項 第1号議案 令和元年度計算書類等の承認の件 第2号議案 理事2名の選任の件

(2) 理事会（主な決議事項・承認報告事項）

（中止）	令和2年4月23日（木） 新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした。
第1回	令和2年5月21日（木） 決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、特別会員の会費、職員の勤勉手当に関する基準の一部改正、武蔵野市シルバー人材センター表彰要綱の一部改正、令和2年度会員表彰、令和元年度事業報告の承認、令和元年度計算書類等の承認、理事候補者2名の選任、令和2年度定時社員総会の開催、令和元年度会員会費未納者の取り扱い、会計関係書類等の廃棄処分 報告事項：期末監査、令和2年3月分・4月分事業実績報告、新型コロナウイルスによる事業影響、行事・会議等報告、部会・委員会等報告
第2回	令和2年6月25日（木） 決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告 報告事項：令和2年度定時社員総会実施状況、令和2年5月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告
第3回	令和2年7月22日（水） 決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告 報告事項：令和2年6月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告
第4回	令和2年8月20日（木） 決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告 報告事項：令和2年7月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告
第5回	令和2年9月24日（木） 決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、会員表彰の推薦 報告事項：会長・副会長・常務理事の職務執行状況報告、令和2年8月分事業

実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告	
第 6 回	令和 2 年 10 月 22 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、事務所移転の方向性 報告事項：令和 2 年 9 月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告	
第 7 回	令和 2 年 11 月 19 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告 報告事項：令和 2 年 10 月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告	
第 8 回	令和 2 年 12 月 17 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、職員の期末手当に関する基準の一部改正、任期付事務局長に関する要綱の一部改正、職員就業規則の一部改正(子の看護休暇等) 報告事項：令和 2 年 11 月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告、事務所移転準備委員会報告、理事・監事の選出方法と改革推進委員会立ち上げ、新年度事業計画・予算、財団-安全就業巡回実施報告、シルバー人材センター総合保険等の契約更新(シルバー人材センター総合保険、役員賠償責任保険、サイバー保険)	
第 9 回	令和 3 年 1 月 21 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告 報告事項：令和 2 年 12 月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告、期中監査報告、事務所移転準備委員会報告、改革推進委員会報告	
第 10 回	令和 3 年 2 月 18 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、地区会員連絡会による理事候補者の推薦についての一部改正と令和 3 年度理事候補推薦関係日程 報告事項：令和 3 年 1 月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告、改革推進委員会報告、事務所移転準備委員会報告、東京労働局経理指導報告(1 月 26 日実施) そ の 他：インボイス研修	
第 11 回	令和 3 年 3 月 25 日（木）
決議事項：正特会員、賛助会員の入会承認と退会会員の報告、事務局長の交代、令和 2 年度第 1 回収支補正予算、令和 3 年度事業計画・収支予算、令和 3 年度資金調達及び設備投資の見込み、職員就業規則の一部改正、準職員就業規則の一部改正、職員の給与の減額を免除することのできる場合の基準の一部改正、退職金支給規程の一部改正、理事会運営規則の一部改正、理事・監事選任基準の一部改正、病気	

休職事務処理要領の新設

報告事項：会長・副会長・常務理事の職務執行状況の報告、令和3年2月分事業実績報告、行事・会議等報告、部会・委員会等報告、事務所移転準備委員会報告、改革推進委員会報告

(3) 部会・各種委員会等

運営会議（16回）、総務部会（9回）、事業部会（10回）、SC魅力化委員会（6回）、適正就業委員会（10回）、安全管理委員会（4回）、広報編集委員会（11回）、研修委員会（11回）、就業開拓委員会（10回）、社会奉仕委員会（2回）、改革検討会（3回）、改革推進委員会（4回）、リサイクル全体会議（2回）

(4) 地域班活動・職群班活動

- 地域班活動は、理事及び班長を通じ、センターからの「事務局だより」、通知文書等を毎月会員に配布しました。また、地区毎に班長会議やブロック会員連絡会等を開催し、会員からの情報を収集しました。
- 職群班（仕事別グループ）活動では、円滑な就業を行うこと、安全就業等についての随時会議を開催しました。

※事業報告の附属明細書の作成について

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しません。

会 員 状 況

令和3年3月31日現在

1. 会 員 数

男	639 人	(668人)	() 内は前年度の数値です。
女	472 人	(486人)	
計	1,111 人	(1,154人)	

2. 会員年齢別構成

単位：(人)

性別 年齢	男	女	計	構成比
60歳未満	0	0	0	0.0%
60～64歳	25	22	47	4.2%
65～69歳	105	75	180	16.2%
70～74歳	197	159	356	32.1%
75～79歳	168	123	291	26.2%
80歳以上	144	93	237	21.3%
計	639	472	1,111	100.0%

※平均年齢 全 体 75.1 歳 (74.7 歳)
 男 75.2 歳 (74.8 歳) 女 74.8 歳 (74.6 歳)

※最高年齢 男 94 歳 女 94 歳

3. 会員入退会状況 (過去10か年)

単位：(人)

年度	入 会			退 会			差 引			年度末会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
23	105	54	159	71	60	131	34	△ 6	28	765	477	1,242
24	73	63	136	96	70	166	△ 23	△ 7	△ 30	742	470	1,212
25	63	62	125	99	49	148	△ 36	13	△ 23	706	483	1,189
26	71	63	134	94	60	154	△ 23	3	△ 20	683	486	1,169
27	85	59	144	74	69	143	11	△ 10	1	694	476	1,170
28	67	51	118	75	61	136	△ 8	△ 10	△ 18	686	466	1,152
29	73	67	140	94	63	157	△ 21	4	△ 17	665	470	1,135
30	90	58	148	71	50	121	19	8	27	684	478	1,162
R1	66	52	118	82	44	126	△ 16	8	△ 8	668	486	1,154
R2	61	51	112	90	65	155	△ 29	△ 14	△ 43	639	472	1,111

資料 2

職 群 別 会 員 数

令和3年3月31日現在

職 群	職 班	職 種 (例示)	会員数	構成比
			(人)	(%)
1 技 術 群	A教育指導班	補習教室講師・教育相談・各種講座等の指導(書道・和裁等)	88	7.9
	B執筆翻訳班	翻訳・編集・レタリング・通訳		
	C経理事務班	経理事務・起票・記帳・伝票整理・OA入力		
	D特殊技能班	自動車運転・速記・電機設備点検・調理師 看護・書画・陶芸制作		
	E経営相談班	財務・労務・販売・生産等の相談指導		
2 技 能 群	F技 能 班	家屋等の営繕修理・建具・表具等の修理 内装・塗装・植木・造園・製図 タイプ・和服仕立・洋服・和服仕立直し 機械修理	163	14.7
	G製作加工班	部品加工・人形制作・印刷・校正・製本 電気部品組立・玩具組立・サッシ組立		
3 事 務 整 理 群	H一般事務班	一般事務・転記事務・伝票整理・名簿整理 書類整理・図書整理	121	10.9
	I毛筆・ 筆耕事務班	宛名書き・筆耕・毛筆賞状書き・浄書		
	J調査事務班	調査事務(統計調査・アンケート調査等) 集計事務・統計事務		
4 群 管 理	K施設管理班	学校施設管理・駐車場管理・公園管理 自転車配置管理・店内見回り・会館受付	185	16.6
	L物品管理班	器財総合管理・在庫管理・資材管理・工具管理・商品管理		
外 5 交 折 群 衝	M販売集金班	店番・店員・デパート販売員・集金	18	1.6
	N外 務 班	配達・外交・営業・パンフレット配布 勧誘募集・集配・得意先回り		
6 業 一 群 般 作	O屋外作業班	清掃(公園・団地内・広場)・除草・荷造り 消毒・ビラ配り・雑役・映画ポスター張り	191	17.2
	P屋内作業班	清掃(庁舎内・マンション)・皿洗い・給食作業 手内職・ラベル張り・ガラス拭き・袋詰め		
7 サ ー ビ ス 群	Q社会活動班	広報ポスター張り・広報紙配布・掲示板見回り プール安全指導	344	31.0
	R福祉 サービス班	高齢者の家事援助・高齢者の相談相手・身障者家事援助 学童保育補助・保育補助・通院介護		
	Sその他の サービス班	家事手伝い・子守・園児送迎・留守番 碁会所世話人・食事の支度		
8	そ の 他		1	0.1
	合 計		1,111	100.0

※会員数は在籍する会員の第一希望を職群別に分けています。

令和2年度 職群別事業実績

	職群名	受託 件数	就 業 延人員	配分金	材料費	事務費	合計金額
公 共 事 業	技 術 群	0	0	0	0	0	0
	技 能 群	10	39	97,360	156,330	21,124	274,814
	事 務 群	71	185	1,053,120	0	75,020	1,128,140
	管 理 群	64	7,887	44,664,338	8,256	3,239,108	47,911,702
	折 衝 外 交	12	431	691,270	119,779	69,127	880,176
	一 般 作 業	169	11,249	44,084,644	340,283	3,907,372	48,332,299
	サービス群	142	24,474	58,558,933	4,976,642	5,221,484	68,757,059
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	468	44,265	149,149,665	5,601,290	12,533,235	167,284,190
民 間 企 業 等	技 術 群	2	11	26,310	0	1,832	28,142
	技 能 群	52	185	1,374,217	109,361	130,100	1,613,678
	事 務 群	34	776	4,170,962	72,358	273,854	4,517,174
	管 理 群	156	6,334	29,671,873	0	2,047,467	31,719,340
	折 衝 外 交	6	12	12,588	0	888	13,476
	一 般 作 業	1,603	16,345	39,523,733	210,594	2,790,765	42,525,092
	サービス群	27	1,151	3,394,515	9,100	336,882	3,740,497
	そ の 他	11	336	691,780	32,010	53,326	777,116
	計	1,891	25,150	78,865,978	433,423	5,635,114	84,934,515
民 間 家 庭	技 術 群	33	47	142,123	0	9,995	152,118
	技 能 群	1,698	5,373	35,263,166	2,131,846	3,505,292	40,900,304
	事 務 群	4	4	10,741	0	776	11,517
	管 理 群	0	0	0	0	0	0
	折 衝 外 交	0	0	0	0	0	0
	一 般 作 業	2,106	6,745	19,120,412	101,578	1,415,305	20,637,295
	サービス群	3,020	13,417	34,714,442	613,118	3,763,449	39,091,009
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	6,861	25,586	89,250,884	2,846,542	8,694,817	100,792,243
独 自 事 業	技 術 群	32	1,269	2,445,058	114,930	244,712	2,804,700
	技 能 群	22	2,695	9,919,153	319,231	23,631	10,262,015
	事 務 群	0	0	0	0	0	0
	管 理 群	0	0	0	0	0	0
	折 衝 外 交	0	0	0	0	0	0
	一 般 作 業	0	0	0	0	0	0
	サービス群	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計	54	3,964	12,364,211	434,161	268,343	13,066,715
合 計	技 術 群	67	1,327	2,613,491	114,930	256,539	2,984,960
	技 能 群	1,782	8,292	46,653,896	2,716,768	3,680,147	53,050,811
	事 務 群	109	965	5,234,823	72,358	349,650	5,656,831
	管 理 群	220	14,221	74,336,211	8,256	5,286,575	79,631,042
	折 衝 外 交	18	443	703,858	119,779	70,015	893,652
	一 般 作 業	3,878	34,339	102,728,789	652,455	8,113,442	111,494,686
	サービス群	3,189	39,042	96,667,890	5,598,860	9,321,815	111,588,565
	そ の 他	11	336	691,780	32,010	53,326	777,116
	計	9,274	98,965	329,630,738	9,315,416	27,131,509	366,077,663

資料 4

令和2年度 月別事業実績

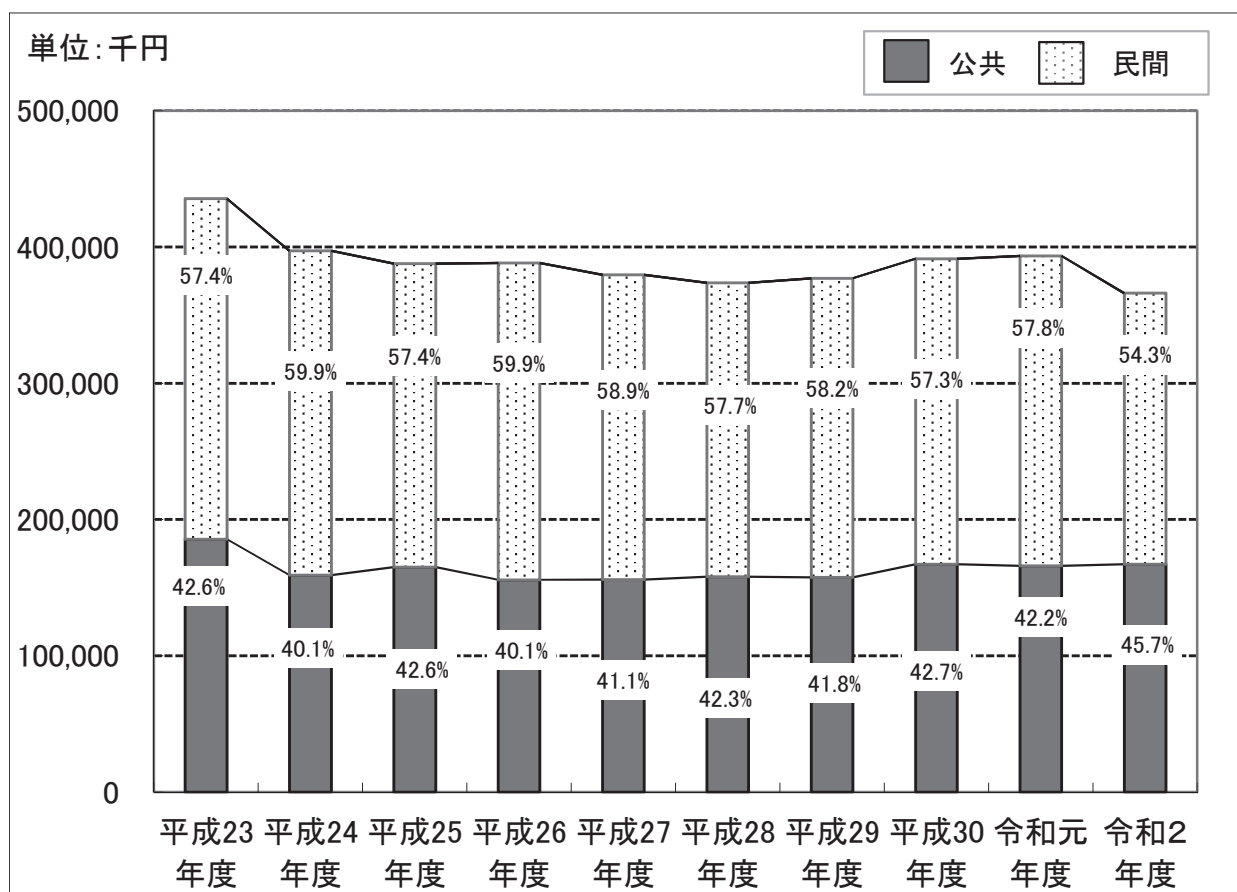
月	区 分	受託 件 数	就 業 実人員	就 業 延人員	配 分 金	事 務 費	材 料 費	合計金額
4月	公 共	24	655	2,827	9,258,522	828,812	533,524	10,620,858
	民 間	573		3,386	10,480,204	639,858	215,366	11,335,428
	計	597		6,213	19,738,726	1,468,670	748,890	21,956,286
5月	公 共	29	607	2,207	5,141,462	401,775	415,647	5,958,884
	民 間	644		3,454	12,180,846	1,040,002	172,469	13,393,317
	計	673		5,661	17,322,308	1,441,777	588,116	19,352,201
6月	公 共	33	732	2,817	7,809,650	703,994	544,277	9,057,921
	民 間	839		4,894	17,136,019	1,518,333	319,705	18,974,057
	計	872		7,711	24,945,669	2,222,327	863,982	28,031,978
7月	公 共	41	741	3,361	10,679,806	924,093	455,620	12,059,519
	民 間	754		5,071	16,482,369	1,325,734	352,005	18,160,108
	計	795		8,432	27,162,175	2,249,827	807,625	30,219,627
8月	公 共	35	751	3,707	13,199,028	1,039,122	449,351	14,687,501
	民 間	683		4,404	13,208,850	1,116,921	163,424	14,489,195
	計	718		8,111	26,407,878	2,156,043	612,775	29,176,696
9月	公 共	39	764	4,582	15,970,698	1,325,183	470,382	17,766,263
	民 間	825		4,830	16,027,539	1,257,170	383,793	17,668,502
	計	864		9,412	31,998,237	2,582,353	854,175	35,434,765
10月	公 共	37	778	4,215	14,893,573	1,307,681	467,402	16,668,656
	民 間	898		5,429	18,835,099	1,446,549	414,475	20,696,123
	計	935		9,644	33,728,672	2,754,230	881,877	37,364,779
11月	公 共	42	778	4,061	14,585,196	1,242,475	477,304	16,304,975
	民 間	875		5,181	18,620,141	1,671,886	455,130	20,747,157
	計	917		9,242	33,205,337	2,914,361	932,434	37,052,132
12月	公 共	38	777	3,979	13,864,797	1,111,201	431,779	15,407,777
	民 間	845		4,980	16,954,453	1,240,597	418,197	18,613,247
	計	883		8,959	30,819,250	2,351,798	849,976	34,021,024
1月	公 共	38	744	3,468	11,965,429	978,026	422,200	13,365,655
	民 間	615		3,894	12,058,868	795,017	224,958	13,078,843
	計	653		7,362	24,024,297	1,773,043	647,158	26,444,498
2月	公 共	57	753	4,334	16,171,058	1,366,686	452,309	17,990,053
	民 間	604		4,425	13,987,073	1,238,429	263,918	15,489,420
	計	661		8,759	30,158,131	2,605,115	716,227	33,479,473
3月	公 共	55	764	4,707	15,610,446	1,304,187	481,495	17,396,128
	民 間	651		4,752	14,509,612	1,307,778	330,686	16,148,076
	計	706		9,459	30,120,058	2,611,965	812,181	33,544,204
合計	公 共	468		44,265	149,149,665	12,533,235	5,601,290	167,284,190
	民 間	8,806		54,700	180,481,073	14,598,274	3,714,126	198,793,473
	計	9,274		98,965	329,630,738	27,131,509	9,315,416	366,077,663

過年度事業実績

平成23年度～令和2年度

年 度	受託 件数	就 業 実人員	就 業 延人員	公 共	民 間	合 計	対前年 度比
平成23年度	8,784	997	110,636	185,521,152	249,886,798	435,407,950	101.3%
平成24年度	9,037	991	107,321	159,162,660	237,950,219	397,112,879	91.2%
平成25年度	9,250	947	114,081	165,095,109	222,594,186	387,689,295	97.6%
平成26年度	9,239	920	110,784	155,715,100	232,532,242	388,247,342	100.1%
平成27年度	9,400	945	108,924	155,955,893	223,524,594	379,480,487	97.7%
平成28年度	9,822	919	108,797	157,951,321	215,864,408	373,815,729	98.5%
平成29年度	10,204	928	110,154	157,503,095	219,418,723	376,921,818	100.8%
平成30年度	10,374	927	111,602	167,089,278	224,200,238	391,289,516	103.8%
令和元年度	10,463	978	108,253	166,027,703	227,471,824	393,499,527	100.6%
令和2年度	9,274	898	98,965	167,284,190	198,793,473	366,077,663	93.0%

《過年度事業実績の推移》



資料 6

令和2年度 派遣事業実施状況報告

月別状況

	件数 (件)	従事 会員数 (人)	延べ 日数 (日)	延べ 時間 (時間)	賃金等 (円)	契約額 (円)
4月分	18	42	370	861.25	1,086,534	1,215,805
5月分	17	40	341	530.25	827,663	752,509
6月分	18	41	375	1,155.25	1,308,127	1,729,990
7月分	15	37	324	1,072.50	1,199,271	1,599,534
8月分	16	47	355	1,117.33	1,246,214	1,664,435
9月分	17	48	397	1,182.08	1,299,481	1,744,231
10月分	16	47	412	1,254.83	1,400,130	1,869,037
11月分	17	63	408	1,194.67	1,324,030	1,760,763
12月分	18	67	440	1,279.83	1,405,878	1,886,812
1月分	16	48	372	1,098.08	1,217,246	1,629,095
2月分	17	50	379	1,084.83	1,221,121	1,603,692
3月分	17	46	416	1,199.33	1,371,135	1,798,479
合 計	—	—	4,589	13,030.23	14,906,830	19,254,382

※賃金等と契約額との差額は、当センターと財団の手数料によります。

【参考資料】

年間実績数	67件
年間実会員数	75人

資料 7

令和2年度 リサイクル再生品販売状況一覧表

単位(円)

品 名	点数	価格	平均単価
自転車	134	1, 112, 620	8, 303
自転車修理	284	547, 560	1, 928
洋服タンス	19	92, 400	4, 863
食器棚	78	435, 100	5, 578
整理タンス	106	458, 250	4, 323
机	40	234, 800	5, 870
ベッド	43	291, 500	6, 779
テーブル	156	772, 350	4, 951
椅子	401	1, 398, 200	3, 487
木工品	495	1, 485, 050	3, 000
その他	5, 828	1, 798, 400	309
小計	7, 584	8, 626, 230	1, 137
配送料	637	427, 600	(販売重量268t)
設置料	75	74, 700	
搬出料	213	560, 550	
防犯登録料	127	74, 220	
鉄屑廃棄料	2	5, 885	
総計	8, 638	9, 769, 185	

令和2年度 独自事業収入 9, 769, 185円 (前年度 11, 770, 859円)

令和2年度 補習教室 教科別生徒数状況 資料 8

令和3年3月31日現在

小・中別	学年	実生徒数	教科別人員			
			国語	算数 (数学)	英語	計
小学生	3年	4	3	1	1	5
	4年	1	1	1	1	3
	5年	10	2	7	5	14
	6年	8	4	6	5	15
中学生	1年	6	2	3	2	7
	2年	8	4	6	7	17
	3年	8	4	6	4	14
合計		45	20	30	25	75

令和2年度 独自事業収入 2, 725, 770円 (前年度 3, 346, 330円)

令和2年度パソコン教室実施状況

種 別	回数	担当 講師 人員	延日人員		備 考
			講 師	受講者	
基本とインターネット	2	1	4	4	入門コース
ワード初級	1	1	2	4	
エクセル初級	1	1	2	2	
ワード中級	1	1	2	2	中級コース
エクセル中級	0	0	0	0	
個別指導	33	3	33	33	個別指導
すこやか	7	2	7	11	旧認知症予防 プログラム
年賀状	1	1	2	2	個別指導
独自事業総計	46	10	52	58	
受託事業総計	49	4	51	49	訪問指導
計	95	14	103	107	

令和2年度 独自事業収入 79,000円 (前年度 278,200円)

令和2年度 受託事業収入 157,968円 (前年度 120,466円)

令和2年度 手芸小物班 活動状況

種 別		回数	出 展 & 活 動	点 数	延日人員
独自事業	定例販売	5	市庁舎前販売	152	74
		7	事務所ホール販売	319	52
	臨時販売	7	事務所作業所内販売	438	29
受託事業	継続受注	7	民間企業 縫製作業	155	35
	単発受注	11	発注者9件	276	48
作製作業		57	センター第一会議室(毎週水・木)	—	506
計				1,340	744

令和2年度 独自事業収入 492,830円 (前年度 1,184,030円)

令和2年度 受託事業収入 360,240円 (前年度 1,000,171円)

(2) 計算書類及び附属明細書
並びに財産目録

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,606,846	33,840,542	2,766,304
未収金	39,269,483	35,247,452	4,022,031
貸倒引当金	△ 249,753	△ 228,403	△ 21,350
	*		
立替金	39,019,730	35,019,049	4,000,681
前払費用	252,261	1,000	251,261
	1,000	2,856,030	△ 2,855,030
流動資産合計	75,879,837	71,716,621	4,163,216
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	7,114,483	6,533,863	580,620
減価償却引当資産	7,492,444	9,145,621	△ 1,653,177
財政運営資金積立資産	8,000,000	8,000,000	0
特定資産合計	22,606,927	23,679,484	△ 1,072,557
(2) その他固定資産			
附属建物	990,000	990,000	0
附属建物減価償却累計額	△ 989,998	△ 989,998	0
	*		
	2	2	0
車輛運搬具	5,466,455	6,862,529	△ 1,396,074
車輛運搬具減価償却累計額	△ 3,146,364	△ 5,102,646	1,956,282
	*		
	2,320,091	1,759,883	560,208
什器備品	3,341,359	3,341,359	0
什器備品減価償却累計額	△ 3,245,862	△ 3,052,977	△ 192,885
	*		
	95,497	288,382	△ 192,885
リース資産	1,102,200	0	1,102,200
リース資産減価償却累計額	△ 110,220	0	△ 110,220
	*		
	991,980	0	991,980
電話加入権	386,500	386,500	0
預託金	30,420	39,320	△ 8,900
その他固定資産合計	3,824,490	2,474,087	1,350,403
固定資産合計	26,431,417	26,153,571	277,846
資産合計	102,311,254	97,870,192	4,441,062
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	34,811,014	28,371,069	6,439,945
前受金	127,053	61,568	65,485
預り金	667,087	730,947	△ 63,860
流動負債合計	35,605,154	29,163,584	6,441,570
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,114,483	6,533,863	580,620
リース債務	991,980	0	991,980
固定負債合計	8,106,463	6,533,863	1,572,600
負債合計	43,711,617	35,697,447	8,014,170
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
58,599,637	62,172,745	△ 3,573,108	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(15,492,444)	(17,145,621)	(△ 1,653,177)
正味財産合計	58,599,637	62,172,745	△ 3,573,108
負債及び正味財産合計	102,311,254	97,870,192	4,441,062

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	353,010,948	376,920,108	△ 23,909,160
受取配分金	317,266,527	338,476,012	△ 21,209,485
受取材料費等	8,881,255	10,214,751	△ 1,333,496
受取事務費	26,863,166	28,229,345	△ 1,366,179
独自事業収益	13,066,715	16,579,419	△ 3,512,704
受取配分金	12,364,211	15,540,612	△ 3,176,401
受取材料費等	434,161	474,830	△ 40,669
受取事務費	268,343	563,977	△ 295,634
労働者派遣事業等受託収益	2,223,875	2,037,148	186,727
労働者派遣事業等受託収益	2,223,875	2,037,148	186,727
受取会費	2,305,000	2,353,000	△ 48,000
正会員受取会費	2,305,000	2,353,000	△ 48,000
特別会員受取会費	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	69,387,257	63,899,000	5,488,257
受取連合交付金	12,629,000	12,166,000	463,000
受取市補助金	56,758,257	51,733,000	5,025,257
受取地域高齢者活躍推進事業助成金	0	0	0
受取福祉家事援助コーディネーター助成金	0	0	0
特定資産運用益	1,566	1,784	△ 218
特定資産受取利息	1,566	1,784	△ 218
雑収益	91,789	124,161	△ 32,372
受取利息	477	410	67
雑収益	91,312	123,751	△ 32,439
経常収益計	440,087,150	461,914,620	△ 21,827,470
(2) 経常費用			
事業費	422,944,463	440,857,594	△ 17,913,131
支払配分金	329,630,738	354,016,624	△ 24,385,886
支払材料費等	6,320,921	7,729,849	△ 1,408,928
職員基本給	19,248,000	15,449,280	3,798,720
職員特別給与	7,481,964	6,752,200	729,764
職員諸手当	8,324,629	6,591,932	1,732,697
臨時雇用賃金	7,519,881	6,153,441	1,366,440
嘱託職員報酬	14,376,341	16,991,388	△ 2,615,047
法定福利費	7,693,506	7,921,624	△ 228,118
退職給付費用	2,108,040	1,195,536	912,504
会議費	0	0	0
旅費交通費	2,166,000	822,140	1,343,860
通信運搬費	1,424,451	1,316,627	107,824
減価償却費	1,042,078	806,221	235,857
消耗什器備品費	153,780	96,800	56,980
消耗品費	575,617	853,550	△ 277,933
燃料費	174,140	224,286	△ 50,146
修繕費	525,614	586,606	△ 60,992
印刷製本費	1,710,971	1,730,208	△ 19,237
賃借料	2,604,092	2,674,613	△ 70,521
保険料	3,759,670	3,713,880	45,790
諸謝金	0	35,600	△ 35,600
租税公課	1,334,250	1,385,750	△ 51,500
支払負担金	90,000	103,250	△ 13,250
組織活動助成費	8,423	71,232	△ 62,809
委託費	4,474,030	3,468,463	1,005,567
支払手数料	158,539	161,494	△ 2,955
貸倒引当金繰入	21,350	0	21,350
貸倒損失	0	0	0
雑費	17,438	5,000	12,438

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	21,028,744	18,913,757	2,114,987
職員基本給	4,812,000	3,862,320	949,680
職員特別給与	1,870,492	1,688,048	182,444
職員諸手当	2,099,862	1,647,986	451,876
臨時雇用賃金	1,292,386	4,309	1,288,077
嘱託職員報酬	1,597,371	1,887,932	△ 290,561
法定福利費	1,849,480	1,909,543	△ 60,063
退職給付費用	527,010	298,884	228,126
福利厚生費	407,456	305,591	101,865
会議費	3,786	26,554	△ 22,768
旅費交通費	625,000	758,745	△ 133,745
通信運搬費	508,794	476,668	32,126
減価償却費	87,718	30,404	57,314
消耗什器備品費	102,520	0	102,520
消耗品費	669,928	336,817	333,111
修繕費	0	103,655	△ 103,655
印刷製本費	325,139	270,026	55,113
賃借料	1,297,080	1,235,922	61,158
保険料	135,380	157,410	△ 22,030
諸謝金	0	0	0
租税公課	3,650	10,500	△ 6,850
支払負担金	90,000	103,250	△ 13,250
燃料費	23,087	8,814	14,273
委託費	2,339,435	3,644,341	△ 1,304,906
支払手数料	80,236	77,116	3,120
雑費	280,934	68,922	212,012
経常費用計	443,973,207	459,771,351	△ 15,798,144
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,886,057	2,143,269	△ 6,029,326
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,886,057	2,143,269	△ 6,029,326
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
固定資産売却益	312,949	0	312,949
車両運搬具売却益	312,949	0	312,949
貸倒引当金取崩益	0	4,802	△ 4,802
貸倒引当金取崩損	0	4,802	△ 4,802
経常外収益計	312,949	4,802	308,147
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	2	△ 2
什器備品除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	312,949	4,800	308,149
当期一般正味財産増減額	△ 3,573,108	2,148,069	△ 5,721,177
一般正味財産期首残高	62,172,745	60,024,676	2,148,069
一般正味財産期末残高	58,599,637	62,172,745	△ 3,573,108
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	58,599,637	62,172,745	△ 3,573,108

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	341,729,005	11,281,943		353,010,948
受取配分金	317,266,527	0		317,266,527
受取材料費等	8,881,255	0		8,881,255
受取事務費	15,581,223	11,281,943		26,863,166
独自事業収益	13,066,715	0		13,066,715
受取配分金	12,364,211	0		12,364,211
受取材料費等	434,161	0		434,161
受取事務費	268,343	0		268,343
労働者派遣事業等受託収益	2,223,875	0		2,223,875
労働者派遣事業等受託収益	2,223,875	0		2,223,875
受取会費	1,152,500	1,152,500		2,305,000
正会員受取会費	1,152,500	1,152,500		2,305,000
特別会員受取会費	0	0		0
賛助会員受取会費	0	0		0
受取補助金等	60,873,518	8,513,739		69,387,257
受取連合交付金	12,629,000	0		12,629,000
受取市補助金	48,244,518	8,513,739		56,758,257
受取地域高齢者活躍推進事業助成金	0	0		0
受取福祉家事援助コーディネート助成金	0	0		0
特定資産運用益	1,566	0		1,566
特定資産受取利息	1,566	0		1,566
雑収益	11,227	80,562		91,789
受取利息	477	0		477
雑収益	10,750	80,562		91,312
経常収益計	419,058,406	21,028,744		440,087,150
(2) 経常費用				
事業費	422,944,463	0		422,944,463
支払配分金	329,630,738	0		329,630,738
支払材料費等	6,320,921	0		6,320,921
職員基本給	19,248,000	0		19,248,000
職員特別給与	7,481,964	0		7,481,964
職員諸手当	8,324,629	0		8,324,629
臨時雇用賃金	7,519,881	0		7,519,881
嘱託職員報酬	14,376,341	0		14,376,341
法定福利費	7,693,506	0		7,693,506
退職給付費用	2,108,040	0		2,108,040
会議費	0	0		0
旅費交通費	2,166,000	0		2,166,000
通信運搬費	1,424,451	0		1,424,451
減価償却費	1,042,078	0		1,042,078
消耗什器備品費	153,780	0		153,780
消耗品費	575,617	0		575,617
燃料費	174,140	0		174,140
修繕費	525,614	0		525,614
印刷製本費	1,710,971	0		1,710,971
賃借料	2,604,092	0		2,604,092
保険料	3,759,670	0		3,759,670
諸謝金	0	0		0
租税公課	1,334,250	0		1,334,250
支払負担金	90,000	0		90,000
組織活動助成費	8,423	0		8,423
委託費	4,474,030	0		4,474,030
支払手数料	158,539	0		158,539
貸倒引当金繰入	21,350	0		21,350
貸倒損失	0	0		0
雑費	17,438	0		17,438

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
管理費	0	21,028,744		21,028,744
職員基本給	0	4,812,000		4,812,000
職員特別給与	0	1,870,492		1,870,492
職員諸手当	0	2,099,862		2,099,862
臨時雇用賃金	0	1,292,386		1,292,386
嘱託職員報酬	0	1,597,371		1,597,371
法定福利費	0	1,849,480		1,849,480
退職給付費用	0	527,010		527,010
福利厚生費	0	407,456		407,456
会議費	0	3,786		3,786
旅費交通費	0	625,000		625,000
通信運搬費	0	508,794		508,794
減価償却費	0	87,718		87,718
消耗什器備品費	0	102,520		102,520
消耗品費	0	669,928		669,928
修繕費	0	0		0
印刷製本費	0	325,139		325,139
賃借料	0	1,297,080		1,297,080
保険料	0	135,380		135,380
諸謝金	0	0		0
租税公課	0	3,650		3,650
支払負担金	0	90,000		90,000
燃料費	0	23,087		23,087
委託費	0	2,339,435		2,339,435
支払手数料	0	80,236		80,236
雑費	0	280,934		280,934
経常費用計	422,944,463	21,028,744		443,973,207
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,886,057	0		△ 3,886,057
基本財産評価損益等	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0		0
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△ 3,886,057	0		△ 3,886,057
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	312,949	0		312,949
車両運搬具売却益	312,949	0		312,949
貸倒引当金取崩益	0	0		0
貸倒引当金取崩益	0	0		0
経常外収益計	312,949	0		312,949
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0		0
車両運搬具売却損	0	0		0
固定資産除却損	0	0		0
什器備品除去損	0	0		0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	312,949	0		312,949
他会計振替額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 3,573,108	0		△ 3,573,108
一般正味財産期首残高	58,880,218	3,292,527		62,172,745
一般正味財産期末残高	55,307,110	3,292,527		58,599,637
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0		0
(2) 費用				
費用計	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
Ⅲ 正味財産期末残高	55,307,110	3,292,527		58,599,637

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上しております。

退職給付引当金…期末退職給付の要支給額に相当する金額から、中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	6,533,863	580,620	0	7,114,483
減価償却引当資産	9,145,621	0	1,653,177	7,492,444
財政運営資金積立資産	8,000,000	0	0	8,000,000
合 計	23,679,484	580,620	1,653,177	22,606,927

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	7,114,483	—	—	(7,114,483)
減価償却引当資産	7,492,444	—	(7,492,444)	—
財政運営資金積立資産	8,000,000	—	(8,000,000)	—
合 計	22,606,927	—	(15,492,444)	(7,114,483)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
市補助金	武蔵野市	0	56,758,257	56,758,257	0	—
連合交付金	(公財) 東京しごと財団	0	12,629,000	12,629,000	0	—
福祉家事援助コーディネーター助成金	(公財) 東京しごと財団	0	0	0	0	—
合 計		0	69,387,257	69,387,257	0	—

5. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

退職金規定に基づく退職一時金制度を採用しております。

②退職給付債務及びその内訳（単位：円）

退職給付債務	7,114,483
退職給付引当金	7,114,483

③退職給付費用に関する事項（単位：円）

退職給付引当金の当期増加額	580,620
中小企業退職金共済掛金	1,296,000
全国シルバー人材センター企業年金基金	758,430
退職給付費用	2,635,050

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定にあたり簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上しております。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	228,403	21,350	0	0	249,753
退職給付引当金	6,533,863	580,620	0	0	7,114,483

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表に対する注記 5. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項 (2) 引当金の明細に記載している。

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	272,274
	預金	普通預金、ゆうちょ銀行	運転資金として	1,005,694
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	運転資金として	23,076,584
		普通預金、多摩信用金庫武蔵野支店	運転資金として	2,047,653
		普通預金、三井住友銀行三鷹支店	運転資金として	2,918,818
		普通預金、きらぼし銀行武蔵野支店	運転資金として	1,070,597
		普通預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	運転資金として	6,215,226
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	市補助金管理用として	0
		普通預金、三菱UFJ銀行吉祥寺支店	国補助金管理用として	0
	未収金	事業収入未収額	事業収入に対する未収金である	39,269,483
貸倒引当金	未収金に対する貸倒見積額	未収金の貸倒れに備える引当金である	△ 249,753	
立替金	保険免責分	センター及び会員負担分	252,261	
前払費用	武蔵野市	武蔵野市民会館使用料	1,000	
流動資産合計				75,879,837
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	職員の退職金支払の財源として積み立てている	7,114,483
	減価償却引当資産	定期預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	固定資産の取得時の財源とするために積み立てている資産であり、資産取得資金として管理している	7,492,444
	財政運営資金積立資産	普通預金、三菱UFJ信託銀行吉祥寺支店	財政運営資金として積み立てている	8,000,000
その他固定資産	付属建物	物置2棟	受託事業及び独自事業に使用している	2
	車両運搬具	貨物車両1台、軽車両3台	受託事業及び独自事業に使用している	2,320,091
	什器備品	パソコン・給湯器等	受託事業及び独自事業に使用している	70,946
	リース資産	エアコン・壁面耐火収納庫等	管理業務に使用している	24,551
		パソコン等	受託事業及び独自事業に使用している	595,188
	電話加入権	パソコン等	管理業務に使用している	396,792
		電話5回線	公益目的事業と管理業務の用に供している	386,500
預託金	車両リサイクル預託金	所有車両廃棄時の処分料として	30,420	
固定資産 計				26,431,417
資産合計				102,311,254
(流動負債)	未払金	会員配分金及び支払先業者に対するもの	3月分の会員配分金未払分・事業に係る物品及び委託業者等への未払分	34,811,014
	前受金	会員	次年度、会員会費	38,000
		補習教室・PC教室に対するもの	補習教室・PC教室申込金	47,100
	預り金	発注者	作業代金	41,953
		職員に対するもの	社会保険料等	667,087
流動負債合計				35,605,154
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員4名に対する退職金の支給に備えたもの	7,114,483
	リース債務	リースに対するもの	ノート型PCリースに対するもの	991,980
固定負債合計				8,106,463
負債合計				43,711,617
正味財産				58,599,637
負債及び正味財産合計				102,311,254

(3) 監査報告書

監 査 報 告 書

令和 3 年 5 月 14 日

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター

会 長 加 藤 之 義 殿

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター

監 事 中 野 菱 子 印

監 事 永 井 雄 太 郎 印

私達は、公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和 2 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1） 事業報告等の監査報告

- 一 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和 2 年度の事業報告は、法令もしくは定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2） 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センターの令和 2 年度の計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

議 案

(1) 第1号議案 令和2年度 計算書類等の承認の件

提案の理由

令和2年度の収支が添付した計算書類のとおりとなったので、法令に従って承認を求めるものです。

※計算書類は、23頁～32頁に記載しているため、参考書類には重ねての記載を省略しております。

(2) 第2号議案 理事8名の選任の件

提案理由

当センターの事業運営を円滑に行うため、理事8名の選任を求めるものです。
理事候補者は以下のとおりです。

候補者 番号	氏 名 (会員番号)	年齢、入会、再任・新任、居住地域、センターでの 業務歴、参考となる経歴、資格等
1	篠原 尉浩 (210159)	74歳、平成22年11月25日入会 再任、吉祥寺東町、総務部会・就業開拓委員会
2	小野 千鶴子 (200062)	77歳、平成12年9月8日入会 再任、吉祥寺北町、事業部会・研修委員会
3	立松 正通 (205093)	77歳、平成17年9月22日入会 再任、中町、運営会議・事業部会
4	安達 勝 (210179)	73歳、平成22年12月22日入会 再任、西久保、運営会議・適正就業委員会
5	加藤 伴子 (206035)	74歳、平成18年5月25日入会 再任、八幡町、総務部会・会報等編集委員会
6	加藤 之義 (203054)	78歳、平成15年6月6日入会 再任、境南町、運営会議・適正就業委員会
7	生駒 篤 (218134)	67歳、平成31年1月24日入会 新任、境、広報紙配布・地区副班長
8	寺井 一弘 (特別会員)	51歳、令和3年4月22日入会 新任、八王子市、事務局長

任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで

(3) **第3号議案** 監事2名の選任の件

提案理由

当センターの監事2名が、本社員総会の終結の時をもって全員任期満了となります。つきましては、監事2名の選任をお願いするものであります。

監事候補者は以下のとおりです。

候補者 番号	氏 名 (会員番号)	年齢、入会、再任・新任、居住地域、センターでの 業務歴、参考となる経歴、資格等
1	中野 菱子 (210159)	78歳、平成19年7月26日入会 再任、吉祥寺南町、簿記1級有資格者
2	永井 雄太郎 (特別会員)	52歳、再任、中央区、公認会計士

任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで

その他資料

- 公益財団法人東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）
理事長挨拶文
- 会員表彰者一覧
- 事前質問用紙
- 公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿

令和３年度定時社員総会
東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）理事長挨拶

令和３年度定時社員総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

我が国の 65 歳以上の人口は、令和 2 年 9 月時点で 3617 万人となり、総人口に占める割合は 28.7%で過去最高の数値になっております。

このような状況の中で、今年 4 月 1 日に施行された「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正では、事業主は、従業員に対し 70 歳まで就業機会を確保することが努力義務化されました。これにより、シルバー人材センターへの新規入会年齢がより高年齢化することが見込まれ、地域に根ざした生きがい就労の充実が益々求められていくと思われます。

シルバー人材センターは、これまでも高齢者がお住まいの地域で働くことを通じて活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献するとともに、健康で生きがいのある生活を送ることを理念として、事業を推進してきました。

また、シルバー人材センターには、地域における働く意欲のある高齢者の就業の受け皿として、幅広いニーズに応えられるよう就業の機会を拡大し、地域における生きがいやコミュニケーションの場として地域社会の活性化にも貢献していくなど、大きな役割が期待されています。特に人手不足業界である介護や保育分野では、女性の活躍がより一層求められています。

一方、昨年から、新型コロナウイルス感染症が引き続き蔓延しており、政府からは複数回に渡り緊急事態宣言が発出され、シルバー人材センターも大きな打撃を受けていることと存じます。令和 2 年度の東京都シルバー人材センター連合全体の状況を見ますと、各シルバー人材センターの工夫や努力にも拘わらず、就業延人員や契約金額は前年度に比較して減少し、会員数も 8 万人を下回ってしまいました。

会員並びに事務局の皆様方も先の見えない不安を感じられていることと思いますが、近い将来、再び会員の皆様が活躍される日が必ず訪れることを信じております。

東京都シルバー人材センター連合は、各シルバー人材センターの皆様方と手を携え、情勢の変化に柔軟に対応しながら引き続き支援をしていく所存です。

結びに、会員の皆様をはじめ、関係各位の益々のご健勝と貴シルバー人材センターの一層の発展を心より祈念しまして挨拶とさせていただきます。

令和 3 年 6 月

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)
理事長 小沼 博靖

令和3年度定時社員総会 会員表彰者一覧

(敬称略)

○永年会員表彰

20年表彰 (8名)

＜吉祥寺北町＞ 小野 千鶴子 田中 雅子	＜八幡町＞ 菅沼 重吾 加藤 邦夫	＜境＞ 武藤 定子
＜関 前＞ 村上 信之	＜境南町＞ 小倉 たい子	＜桜 堤＞ 田中 稔保

10年表彰 (55名)

＜吉祥寺東町＞ 渡辺 忠昭 安田 享祐 篠原 尉浩 井上 尊雄 安藤 洋子 今井 敬三	＜吉祥寺北町＞ 増山 悦夫 蓮村 櫻子 西山 多恵子 森田 節男	＜関 前＞ 麻生島 浩二 滝澤 邑次 高村 恵 栗田 崇	＜境＞ 吉野 忠雄 秋田 幸子 株木 まさ子 山尾 哲夫 神戸 廣行 秋田 知恵子 覚明 正之 秋山 敏子 田原 捷之
＜吉祥寺南町＞ 金子 隆司 高橋 正孝 和田 達雄	＜中 町＞ 斎藤 正樹 杉本 真理	＜八幡町＞ 菊池 仁 小林 茂夫	＜桜 堤＞ 有賀 克明 初見 眞澄 加藤 早苗 千葉 忠幸 狩野 仁平
＜御殿山＞ 居樹 伸雄	＜西久保＞ 中島 富江 安達 勝 新井 英世	＜境南町＞ 野原 慶子 清水 武 神保 伸一 宮本 作太郎 渡辺 啓 小幡 惣市	
＜吉祥寺本町＞ 野村 幸子 高倉 誠之 池内 洋子	＜緑 町＞ 鈴木 正胤 秋山 和子 杉崎 絹子 越智 征夫 岡本 芳子 木幡 英夫 大島 美代子		

令和3年3月31日を基準として、
在籍年数20年の会員を「20年表彰」、
在籍年数10年の会員を「10年表彰」としまし
た。

○団体表彰

手芸小物班

○役員表彰(役員2期4年以上で退任される方)

田中 雅子 小坂 強 今井 宏美 高木 攻

令和3年5月27日現在

FAX
5
6
|
2
6
2
2

キ
リ
ト
リ
線

事前質問用紙

令和3年 月 日

公益社団法人
武蔵野市シルバー人材センター
会 長 加 藤 之 義 様

会員番号

会員氏名

私は、令和３年度 定時社員総会の議案について、下記のとおり質問いたします。

記

※質問の内容は、できるだけ簡潔にご記入願います。

[illegible]

〒180-0006 武蔵野市中町3-5-16

FAX 0422-56-2622

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター役員名簿

令和3年3月31日現在

役 職	氏 名	備 考
会 長	加 藤 之 義	代表理事
副 会 長	安 達 勝	代表理事
理 事	盛 田 隆 平	常務理事兼事務局長（令和3年3月31日退任）
理 事	山 田 剛	武蔵野市健康福祉部長
理 事	篠 原 尉 浩	吉祥寺東町地区責任者
理 事	小 坂 強	吉祥寺南町地区責任者
理 事	山 岸 省 一	吉祥寺本町・御殿山地区責任者
理 事	小 野 千 鶴 子	吉祥寺北町地区責任者
理 事	立 松 正 通	中町地区責任者
理 事	納 堂 誠	西久保地区責任者
理 事	田 中 雅 子	緑町地区責任者代行
理 事	加 藤 伴 子	八幡町地区責任者
理 事	今 井 宏 美	関前地区責任者
理 事	加 藤 力 弥	境地区責任者
理 事	高 木 攻	境南町地区責任者
理 事	内 山 光 男	桜堤地区責任者
監 事	中 野 菱 子	
監 事	永 井 雄 太 郎	公認会計士



シルバー人材センターのイメージキャラクター
「シルバーくん」

